

学位審査報告書及び試験, 試問について

1 学位審査報告書について

(1) 学位授与の可否及び授与する学位に付記する専攻分野の名称について

論文審査及び試験並びに試問の結果, 学位を授与される資格があると判定したときは, 次のような要領で記入してください。

『論文審査及び試験並びに試問の結果, 上記の学位申請者の〇〇〇〇は, 博士(〇〇)の学位を得る資格があると認める。』

(2) 論文審査結果の要旨について

学位を授与される資格があると判定したときは, この要旨の末尾は, 次のような要領で簡潔にまとめてください。

『本研究は・・・について, その・・・, を研究したものであり, ・・・について重要な知見を得たものとして価値ある集積であると認める。よって, 学位申請者の〇〇〇〇は, 博士(〇〇)の学位を得る資格があると認める。』

(3) 試験結果の要旨について

要旨欄には, 学位論文を中心として, これに関連する専門科目について行った試験の実施日, 方法(筆答試験又は口頭試験の別), 担当者, 評価等を簡潔にまとめて記入してください。

また, 合格と判定したときは, この要旨の末尾は, 次のような要領でまとめてください。

『以上の結果, 学位申請者の〇〇〇〇は, 試験に合格と判定した。』

なお, 答案等を提出する必要はありません。

(4) 試問の結果の要旨について

要旨欄には, 学位申請者の学術領域の専門科目及び専門の学術研究を行うのに必要な外国語(日本人は英語, 外国人は日本語及び英語)について行った試問の実施日, 方法(筆答試験又は口頭試験の別), 担当者, 評価等を簡潔にまとめて記入してください。

また, 合格と判定したときは, この要旨の末尾は, 次のような要領でまとめてください。

『以上の結果, 学位申請者の〇〇〇〇は, 本研究科の課程を修了した者と同等以上の学力を有すると判定した。』

なお, 答案等を提出する必要はありません。

* 本学大学院研究科博士後期課程を単位修得退学後5年以内の者については, 学力を確認するための試問を省略することができることから, 報告書の試問の結果の要旨欄は, 「神戸大学学位規程第13条の規定により省略する。」と記載してください。

2 試験, 試問の実施及び論文発表の開催について

(1) 試験及び試問の科目, 日時, 場所等については, 主査から直接学位申請者に通知してください。

(2) 論文発表会については, 各審査委員会において, 開催日時, 場所, 方法等を定めて実施してください。実施に当たっては, 掲示用紙により, 学生等に周知願います。